

令和4年9月21日

職務執行状況報告

理事長 小野寺 眞 悟
業務執行理事 小野寺 裕 司

1 各特別支援学校へのスポーツ用品の寄贈について

スポーツ用品の多くは、方々で製造されていて、特に中国を含めて工場のロックダウンがあり、海外のコロナ感染症の拡大とともに、スポーツ用品を製造している国々からの輸入が滞りました。このことから、各校が要望したスポーツ用品が業者に届かなかったので、最終的には、7月初めくらいまで寄贈期間が延びてしまいました。

2 第6回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会について

第4回、第5回とコロナ感染症の拡大による国と道の考えもあり中止しておりましたが、今年はコロナ感染所に対して十二分の留意を行ったうえで開催することができました。

今年は、江別市様の特段のご配慮により、優勝旗(江別市長旗)と準優勝カップ(江別市長カップ)をカテゴリー1と2の両方にご寄贈いただきましたので、大会終了後の表彰式も大いに盛り上がりました。江別市には知勇信より厚く御礼申し上げます。

また、札幌北の杜ライオンズクラブ様からは、素晴らしいバナー(横一文字)を2種(「小野寺眞悟杯名目」「全国特別支援学校フットサル大会北海道予選名目」)をご寄贈いただきました。これも会場を華やかにしてくれ、生徒の心を大きく盛り上げるものとして感謝いたしております。

今年の大会は、一般財団法人日本ライオンズが主催する第1回全国特別支援学校フットサル大会の北海道予選を兼ねた大会になりました。カテゴリー2で優勝した北海道中札内高等養護学校は、11月5日に札幌市で開催される全国大会に参加いたします。今後もこの全国大会の予選と位置付けて本大会を開催することといたします。

台湾の台北市立啓聴学校と台南特別教育学校からは、コロナ感染所の関係で国の許可が下りれば参加したいとの申し込みを受けていましたが、結局、今年は断念したとの連絡がありました。来年度はこの2校の参加もありそうです。過年度参加した本大会に参加した韓国安東市の愛明学校裴理事長にも声をかけていこうと思っております。

3 スポーツ活動の実践研究校への助成について

今年度は、7校8研究の申込がありました。研究テーマから見ると個別研究ではなく、小学部や中学部としての部内のグループ研究が多いようであり、特に現在、文部科学省が進めている主体的に学ぶ学習法にITに係るものがあり、とても前向きなものとして敬意を表しているところです。また、道教大札幌校の中島先生のご執筆になる論考と札幌大谷大学田部先生のご執筆の論考の2部構成として初めて掲載することができるのも楽しみにしているところです。